

問一 二重傍線部 a～e のカタカナは漢字にし、漢字はその訓読みをひらがなで書きなさい。(二〇点)

【解答例】

a しぐれ b 喚起 c 端的 d 通底 e 変貌

問二 傍線部①に「見立ては、心情を歌う恋歌よりも、折々の景物を捉える四季歌の中に多く見受けられる」とありますが、それはなぜですか。恋歌と四季歌の違いをふまえて、三〇字以上四〇字以内で説明しなさい。(二〇点)

【解答例 1】

恋歌は形のない心情を詠むが、見立ての範疇や対象は具体的な「物」であるから。(37字)

【解答例 2】

見立ての範疇や対象は具体的な「物」だが、恋歌は景物ではなく無形の心情を詠むから。(40字)

問三 傍線部②に「雁かりの声を櫓ろの音と聴く」とありますが、この見立ての元になった白居易「河亭晴望」(『白氏文集』)について、次の問いに答えなさい。  
なお、この詩は、白居易が水郷として有名な蘇州そしゅうの役人だった、五十五才の時の作です。この詩には、九月九日重陽節の前日、川辺の亭から見た雨上がりの風景が描かれています。「斂れん」は収まる、「銷しょう」は消える、「遙よう」は、はるかという意味です。「櫓」は船をこぎ進める道具です。(三〇点)

風転雲頭斂、煙銷水面開。

晴虹橋影出、秋雁櫓声来。

郡静官初罷、郷遥信未廻。

明朝是重九、誰勸菊花盃。

(一) この詩の詩型を書きなさい。

【解答例】

五言律詩 (五點)

(二) この詩の韻字をすべて抜き出しなさい。

【解答例】

開・来・廻・盃 (五點)

(三) 六句目を書き下し文にしなさい。

【解答例】

郷遙かにして信未だ廻 (かえ／めぐ) らず。(一〇點)

(四) 八句目を現代語に訳しなさい。

【解答例】

いったい誰が菊の花を浮かべた盃を勧めしてくれるだろうか、いや誰も勧めてくれない。(一〇點)

問四 傍線部③に『視覚的な印象を中心とする知覚上の類似に基づいて』というやや回りくどい言い方をしている」とありますが、それはなぜですか。「見

立て」という語を用いながら、五〇字以上七〇字以内で説明しなさい。(二〇點)

【解答例】

見立ては視覚的な類似によって一方の事物と他方の事物とを結びつけるが、聴覚的な類似による例も少数ながら存在しているから。(59字)

問五 傍線部④の和歌「み吉野の山辺に咲ける桜花雪かとのみぞあやまたれける」を、現代語に訳しなさい。(一〇點)

【解答例】

吉野山の辺りに咲いている桜の花は、まるで雪かとばかり見誤られることだ。

問六 傍線部⑤の「春立てば」における「ば」について、次の例にならって、文法的に説明しなさい。(五點)

(例) 花とや見らん 疑問を表す係助詞

【解答例】

順接の確定条件の理由を表す接続助詞

問七 傍線部⑥の和歌「神奈備の三室の山を秋行けば錦たちきる心地こそすれ」について、見立て以外の和歌の表現技法を説明しなさい。(一〇點)

【解答例1】

「(たち) きる」が、生地を「切る」と、衣服を「着る」の掛詞となっている。

【解答例2】

「神奈備の三室の山」は、秋の紅葉の名所として知られ、特定のイメージを持つ歌枕の一つである。

問八 傍線部⑦の「僧正遍昭」について、次の語をすべて用いて、五〇字以上六〇字以内で説明しなさい。(一五點)

在原業平 紀貫之 仮名序

【解答例1】

紀貫之の書いた『古今集』仮名序で、在原業平や小野小町らとともに挙げられた、後に六歌仙と呼ばれる歌人の一人である。(56字)

【解答例2】

『古今和歌集』の撰者である紀貫之が、ひらがなの序文である仮名序の中で在原業平らとともに名前を挙げた有名歌人の一人である。(60字)

問九 傍線部⑧に「雪と花の見立て」あるいは「紅葉と錦の見立て」といった〈型〉を共有した上で、さまざまな工夫を凝らし、ことばを精緻に組立てて、多彩な表現を生み出すのである」とありますが、6の和歌における「〈型〉」と「工夫」について、五〇字以上七〇字以内で説明しなさい。(二〇点)

【解答例】

柳の枝を糸に、白露を宝玉に見立てるのが〈型〉であり、柳が意志ある者のように擬人化されているのが工夫である。(53字)

問十 傍線部⑨『古今集』歌人は、見立ての力によって、この世界を再構築する」とありますが、これはどういう意味ですか。本文でこれに関して述べていることを、次の二語を用いながら、八〇字以上九〇字以内でまとめなさい。(二〇点)

本質 認識

【解答例】

歌人は、見立てによってそれまで何気なく見ていたものの中から、思いがけない本質を鮮やかに浮き彫りにする。それによって風景が一変し、世界が一転するという新しい認識を提示する。(85字)

問十一 本文で扱われている事物以外のものを取り上げて、自然と人事の「見立て」を行いなさい。何を何に見立てるのか、両者の似ていない点および両者の類似性について言及しながら、取り上げた事物の本質について、一五〇字以上一七〇字以内で述べなさい。(四〇点)

【解答例】

ウサギを狩るタカを鉄砲の弾丸に見立てたいと思う。「タカ」と「鉄砲の弾丸」の形も大きさも大きく異なる。ウサギを狙って接近するタカの様子を、人を作った鉄砲の弾丸が直線的に目標に向かう軌跡に喩えている。これによって、タカの行動の中に、人工の殺傷道具である鉄砲の持っている機械的な非情さを本質として見いだすことができる。(156字)